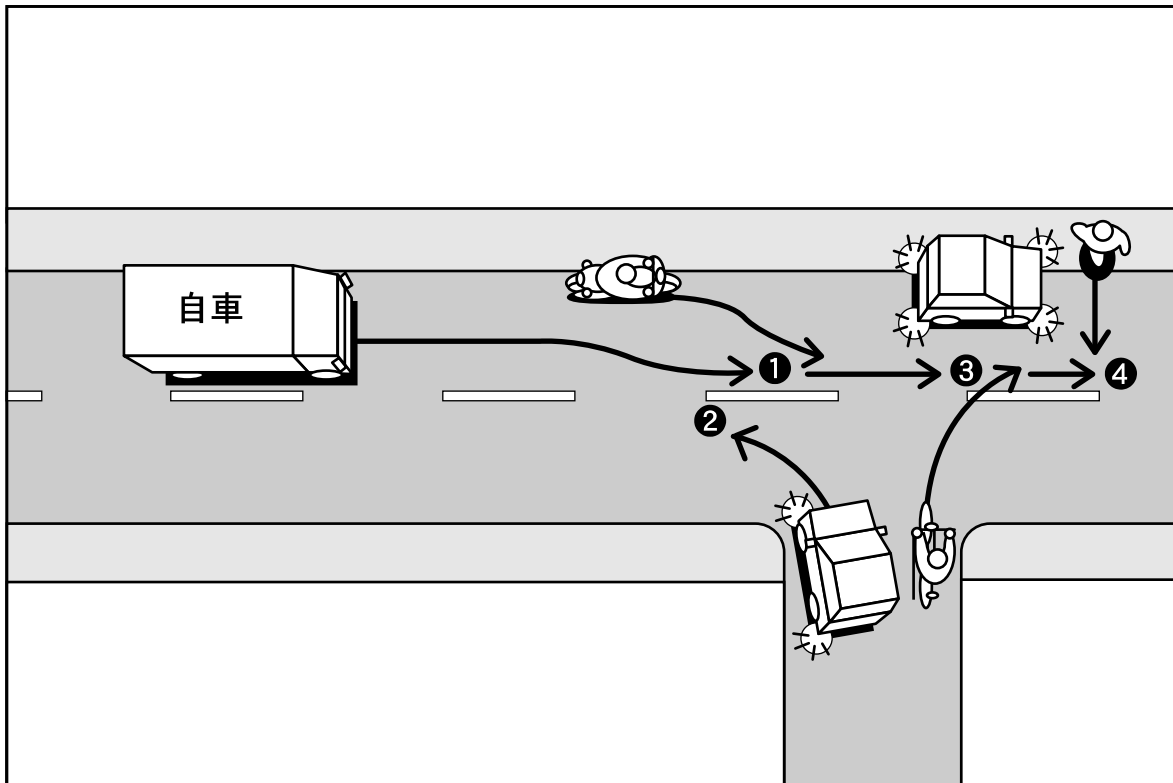


〔トラック3〕住宅街の道路を走行



1．主な危険要因の例

- ① 駐車車両に進路を塞がれた二輪車が右に進路を変更してくることが予測されるので、このまま進行すると二輪車と衝突する危険がある。
- ② 二輪車を追い越そうとすると、前方右側の脇道から出ようとしている車と衝突する危険がある。
- ③ 前方右側の脇道に自転車が見えるが、この自転車が出てくると衝突する危険がある。
- ④ 駐車車両の向こうに歩行者が見えるが、この歩行者が道路を横断してくるとはねる危険がある。

2．安全運転の例

駐車車両などで進路を塞がれた二輪車は、後方の確認をしないまま進路を変更することがよくあるので、二輪車を追い越そうとはせず先に行かせる。

脇道から車と自転車が出ようとしており、駐車車両の向こうには歩行者も見えるので、スピードを落として走行するとともに、脇道の車や自転車は先に行かせる。

3．乗務員指導のポイント

次に掲げる住宅街走行の基本を指導する。

- ・あらかじめスピードを落として走る。
 - ・自転車やバイクの動きに注意する。
 - ・駐車車両があるときは、その付近の歩行者の動きに注意する。
- 脇道から車や自転車が出ようとしているときは、先に行かせるように指導する。